

1年数学科 評価規準

教科	単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
数学	一学期 1章 正の数・負の数 2章 文字の式	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数の必要性和意味を理解している。 正の数と負の数の四則計算をすることができる。 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 数の集合と四則計算の可能性を理解している。 自然数を素数の積として表すことができる。 文字を用いることの必要性和意味を理解している。 文字を用いた式における積と商の表し方を理解している。 簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。 数量の関係や法則などを文字を用いた等式や不等式に表すことができることを理解し、文字式を用いて表したり、文字式を読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能を問うペーパーテスト 単元末小テスト、プリントなど
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 具体的な場面と関連づけて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考・判断・表現を問うペーパーテスト 単元末小テスト、プリントなど
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数、文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。 正の数と負の数、文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 正の数と負の数、文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内での発言内容や姿勢 授業プリントや問題集への記載内容、取組情報 生徒本人による自己評価の記述内容など
	二学期 3章 方程式 4章 変化と対応 5章 平面図形	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。 簡単な方程式、比例式を解くことができる。 関数関係の意味を理解している。 比例、反比例について理解している。 座標の意味を理解している。 比例、反比例の関係を表、式、グラフに表すことができる。 平行移動、対称移動及び回転移動について理解している。 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能を問うペーパーテスト 単元末小テスト、プリントなど
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 等式の性質を基にして、方程式を解く方法を考察し表現することができる。 方程式、比例式を具体的な場面で活用することができる。 比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 図形の移動に着目し、2つの図形の関係について考察し表現することができる。 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考・判断・表現を問うペーパーテスト 単元末小テスト、プリントなど
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 一元一次方程式、比例、反比例、平面図形の性質や関係を捉えることの必要性和意味を考えようとしている。 一元一次方程式、比例、反比例、平面図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 一元一次方程式、比例、反比例、基本的な作図や図形の移動を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内での発言内容や姿勢 授業プリントや問題集への記載内容、取組情報 生徒本人による自己評価の記述内容など
	三学期 6章 空間図形 7章 データの活用	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係を理解している。 基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能を問うペーパーテスト 単元末小テスト、プリントなど
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 立体を線分や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、立体を平面上に表現して、平面上の表現から立体の性質を見いだしたりすることができる。 立体の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 目的に応じてデータを収集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考・判断・表現を問うペーパーテスト 単元末小テスト、プリントなど
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の性質や関係を捉えること、ヒストグラムや相対度数、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率などの必要性和意味を考えようとしている。 空間図形、データの分布、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 空間図形の性質や関係、ヒストグラムや相対度数、多数の観察や多数回の試行によって得られる確率などを活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業内での発言内容や姿勢 授業プリントや問題集への記載内容、取組情報 生徒本人による自己評価の記述内容など

2年数学科 評価規準

教科	単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
数学	一学期 1章 式の計算 2章 連立方程式	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を文字を用いた式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ・文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。 ・目的に応じて、簡単な等式を変形することができる。 ・二元一次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 ・簡単な連立方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識と技能を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連づけて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 ・一元一次方程式と関連づけて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・連立方程式を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断・表現を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いた式、連立方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式、連立方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・文字を用いた式、連立方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントへの取り組み状況、問題集への記載内容など ・授業内での発言内容や姿勢 ・生徒本人による自己評価や相互評価の様子や記述内容
	二学期 3章 一次関数 4章 図形の調べ方 5章 図形の性質と証明	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数について理解している。 ・事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを理解している。 ・二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 ・平行線や角の性質を理解している。 ・多角形の角についての性質を見いだすことができる。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性と意味及びその方法について理解している。 ・直角三角形の合同条件について理解している。 ・証明の必要性と意味及びその方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識と技能を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連づけて考察し表現することができる。 ・一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ・基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ説明することができる。 ・三角形の合同条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめることができる。 ・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。 ・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断・表現を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数、図形の性質などを証明することの必要性と意味を考えようとしている。 ・一次関数、平面図形の性質、三角形や平行四辺形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・一次関数、平面図形の性質、三角形や平行四辺形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントへの取り組み状況、問題集への記載内容など ・授業内での発言内容や姿勢 ・生徒本人による自己評価や相互評価の様子や記述内容
	三学期 6章 場合の数と確率 7章 箱ひげ図とデータの活用	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・多数回の試行によって得られる確率と関連づけて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。 ・簡単な場合について確率を求めることができる。 ・箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し、箱ひげ図で表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識と技能を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ・確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現することができる。 ・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考・判断・表現を問うペーパーテスト。 ・スライド、小テストやプリントなど
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・場合の数をもとにして得られる確率、箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を考えようとしている。 ・確率、箱ひげ図や四分位範囲について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。 ・確率、箱ひげ図や四分位範囲を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業プリントへの取り組み状況、問題集への記載内容など ・授業内での発言内容や姿勢 ・生徒本人による自己評価や相互評価の様子や記述内容

3年数学科 評価規準

教科	単元・学習内容	評価の観点	評価基準(B基準)	評価方法・評価材料
数学	一学期 1章 式の展開と因数分解 2章 平方根 3章 二次方程式	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 展開の意味、因数及び因数分解の意味を理解している。 多項式と単項式の乗除、多項式どうしの乗法、乗法公式を用いて式の展開、因数分解をすることができる。 数の平方根の必要性和意味、有理数と無理数の意味を理解している。 $\sqrt{\quad}$の中を簡単な数にしたり、分母を有利化したり、根号を含む式の四則計算をすることができる。 近似値や誤差、有効数字の意味を理解している。 既に学習した方程式と関連づけて、二次方程式の必要性和意味、その解の意味を理解している。 平方根の意味に基づいて二次方程式を解くことや、解の公式や因数分解を用いて二次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末テスト 定期テスト 実力テスト 振り返りシート など
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 数や図形の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式で説明することができる。 乗法の公式や因数分解の公式を活用して、能率よく数や式の値の計算をする方法を考察し表現することができる。 既に学習した計算の方法と関連づけて、根号を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 平方根を具体的な場面で活用することができる。 二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 二次方程式を具体的な場面で活用することができる。 求めた解や解決の方法をふり返って、それらが適切であるかどうかを考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末テスト 定期テスト 実力テスト 振り返りシート レポート など
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 式の展開や因数分解、数の平方根、二次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 多項式、数の平方根、二次方程式について学んだことを生活や学習に活かそうとしている。 文字を用いた式、数の平方根、二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリントへの取り組み状況 章末テスト 振り返りシート 定期テストの間違い直し など
	二学期 4章 関数 $y=ax^2$ 5章 図形と相似 6章 円の性質	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 関数$y=ax^2$や2乗に比例することの意味、放物線、放物線の軸、放物線の頂点の意味を理解している。 関数$y=ax^2$の関係を式に表すこと、グラフに表すことができ、変化の割合や変域を求めることができる。 具体的な事象の中から見いだした関数関係を、表やグラフなどで表すことができる。 図形の相似の意味と相似な図形の性質、三角形の相似条件の意味を理解している。 相似な図形の対応する辺の長さや角の大きさを求めることができる。 平行線と線分の比についての性質を用いて、線分の長さなどを求めることができる。 1点を中心として図形を拡大または縮小して、相似な図形をかくことができる。 中点連結定理を理解し、これを用いて、線分の長さなどを求めることができる。 図形の面積を、相似比と面積の比の関係を用いて、求めることができる。立体の表面積や体積を、相似比と表面積の比、体積の比の関係を用いて求めることができる。 図形の辺の比の関係を求めたり、直接測定できない高さや距離などを縮図をかくて求めたりすることができる。 円周角の定理や、円周角の定理の逆の意味を理解し、記号を用いて表したり、その意味を読み取ったりすることができる。 円周角と中心角の関係を用いて、角の大きさを求めることや、円外にある1点から円に接線をひく作図をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末テスト 定期テスト 実力テスト 振り返りシート など
		思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 関数$y=ax^2$のxの値が変化するときのyの値の増減の様子を、既習の関数と関連づけて考察し表現することができる。 具体的な事象から取り出した2つの数量の関係が関数$y=ax^2$であるかどうかを判断し、その変化や対応の特徴を捉え、説明することができる。 具体的な事象の中から取り出した2つの数量の関係を、理想化したり単純化したりして関数$y=ax^2$とみなし、変化や対応の様子を調べたり、予測したりすることができる。 具体的な事象の中から見いだした関数関係を表やグラフを用いて変化や対応の様子を調べ、その特徴を考察し表現することができる。 相似な図形の性質を見いだすことができる。見いだした図形の性質などを、三角形の相似条件を用いて証明することができる。 中点連結定理を用いて、図形の性質を証明することができる。 相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 与えられた図形の中の相似な三角形に着目するなどして、線分の比を見いだしたり、位置関係を捉えたりすることができる。 円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 見いだした図形の性質を円周角の定理を用いて証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末テスト 定期テスト 実力テスト 振り返りシート レポート など
		主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 関数 $y = ax^2$、相似な図形の性質、円周角と中心角の必要性和意味を考えようとしている。 関数 $y = ax^2$、相似な図形の性質、円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に活かそうとしている。 関数 $y = ax^2$、相似な図形の性質、円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末テスト 振り返りシート 定期テストの間違い直し など
三学期 7章 三平方の定理 8章 標本調査とデータの活用	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理、三平方の定理の逆の意味を理解している。 三平方の定理を用いて、直角三角形の辺の長さなどを求めることができる。 三平方の定理の逆を用いて、ある三角形が直角三角形であるかどうかを見分けることができる。 平面や空間における線分の長さや面積・体積などを求めることができる。 標本調査や全数調査の必要性和意味や、母集団と標本の関係を理解している。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 標本調査の結果から求められる割合をもとにして、母集団の傾向を推定することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末テスト 定期テスト 実力テスト 振り返りシート など 	
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 平面や空間における線分の長さや面積・体積などを求める方法を考察し表現することができる。 標本の大きさが異なる場合の標本の平均値の違いによる標本の性質を箱ひげ図を用いて比較するなど、標本と母集団の関係について考察し表現することができる。 標本調査の方法や結果を批判的に考察し判断・表現することができる。 簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 章末テスト 定期テスト 実力テスト 振り返りシート レポート など 	
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理、標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業プリントへの取り組み状況 章末テスト 	

		主体的に学習に取り組む態度	<small>三平方の定理、標本調査の必要はし感等と関わり合っている。</small> <ul style="list-style-type: none">三平方の定理、標本調査について学んだことを生活や学習に活かそうとしている。三平方の定理、標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。	<ul style="list-style-type: none">振り返りシート定期テストの間違い直し など
--	--	----------------------	---	--